



実り豊かな生活文化都市

中央市

議会だより

Vol. 70

8月
2023



特集 完成!

田富北小学校 P2

- P 4 6月定例会で決まったこと
- P 8 第2回臨時会
- P 8 審議結果
- P 9 市長の行政報告
- P10 一般質問に10議員
- P15 委員会レポート
- P17 全国・県市議会議長会表彰
- P18 市民の談話室・編集後記

新しい田富北小学校が完成し、2学期からいよいよ運用開始となります。令和5年6月定例会では、仮設校舎の撤去に関する補正予算案が提出され、総務教育常任委員会において審査しました。議会としても長い期間、関連案件を審議してきた経過もありますので、今回の特集では完成した田富北小学校の特徴などを紹介します。

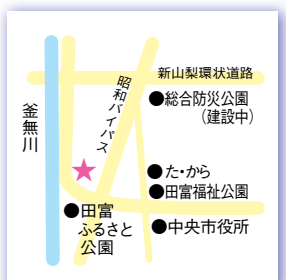
完成！ 田富北小学校



完成した田富北小学校新校舎（正面玄関）

設計時のイメージ図

田富北小の新校舎は2階建ての鉄筋コンクリート造りで、建築工事の契約締結については令和3年12月の第4回定例会において審議、議決後、工事が開始されました。



新校舎の主な特徴

中央階段



広々とした中庭

議会として

リニア中央新幹線のルートが決まり、移転の計画が出てから約10年の長い期間、議会においてもその都度さまざまな協議を重ねてきました。移転場所の選定や移転工事に関するJRとの補償交渉について、また、仮設校舎の環境に関してや工事期間中の登下校時の安全確保などの児童に与える影響等についても執行部と議論を重ね、意見や提言を行ってきました。



エレベーター

エレベーターの設置など、学校施設のバリアフリー化も進んでいます。

校舎中央に位置した中央階段は新しい田富北小の一番の特徴です。階段の一部がベンチとして利用できる構造になっていて、その部分に座って本を読んだり、おしゃべりをしたりと、子どもたちの交流スペースとしての機能を持たせています。

見えないところも工夫

リニア中央新幹線がすぐ近くを通るということで、騒音対策として窓によっては複層ガラス等のサッシを取り付けています。また、将来を見据えた長寿命な施設を目指し、建材にはメンテナンスが容易なものを取り入れたり、配水管等も地面に埋設するのではなく、床下にピットを設けて配管をしたりしてメンテナンスや交換が簡単になるようにしています。

令和5年度 一般会計補正予算 (第2号)

総額

5億6,648万円増額

146億2,421万円に

(1万円未満は四捨五入しています)

6月定例会は6月8日から6月22日までの15日間の会期で開催され、市長提案の条例関係1案件、補正予算4案件、その他1案件を審議しました。

また、予算繰越など、報告案件4件が報告されました。

主な内容

○総務費

賦課徴収費 532万円
(地籍調査による土地の移動に伴う固定資産税の画地条件の見直し等に要する委託料)

○民生費

電力・ガス・食料品等価格高騰 9,327万円
重点支援給付金給付事業

保育対策総合支援事業 913万円
(市内の認定こども園や小規模保育事業所に通園する園児の保護者の負担軽減のため、使用済みおむつの持ち帰りを廃止するための事業費及び、下河東地内への小規模保育事業所開設に伴う補助事業)

○衛生費

動物管理費 309万円
(猫の不妊・去勢手術費助成事業)

○農林水産業費

農業振興費 4億2,744万円
(持続的な発展に必要な産地基幹施設の整備等を行う事業者(シャトレゼファーム等)への交付金)

○土木費

公共下水道事業会計操出事業 321万円
(下水道管へ流入する不明水の調査を実施するための公共下水道事業会計への補助金)

○教育費

リニア建設に伴う田富北小学校 211万円
移転整備事業
(保健室改修工事設計業務委託)

埋蔵文化財発掘調査事業 729万円
(大鳥居宇山平地区圍場整備工事に伴う二子塚古墳の調査費用)

特別会計補正予算

会 計 名	補 正 額	総 額
国民健康保険特別会計	5万円	32億1,540万円

企業会計補正予算

	収益的収入および支出			資本的収入および支出		
		補正額	総額		補正額	総額
公共下水道事業会計	収入	321万円	8億352万円	収入	0万円	7億1,112万円
	支出	321万円	8億352万円	支出	0万円	8億2,766万円
農業集落排水事業会計	収入	417万円	2億5,288万円	収入	80万円	1億369万円
	支出	417万円	2億5,288万円	支出	80万円	1億3,700万円

主な条例案

- **受給者の医療機関受診の際の被保険者等の資格を確認する手続きに、マイナンバーカードによるオンライン資格確認を加えます。**

【中央市子ども医療費助成金支給条例等中改正の件（施行日：交付の日）】

主な改正内容

医療保険各法における電子資格確認の導入に伴い、受給者は医療機関等の受診の際に、電子資格確認等により被保険者または被扶養者を確認した上で、助成金に係る受給者証を提示し、当該助成金の支給（窓口無料）を受ける。

- ・ 子ども医療費助成金支給条例の一部改正・・・第6条（受給者証の提示）
- ・ 中央市重度心身障害者医療費助成条例の一部改正・・・第7条（受給者証の提示）
- ・ ひとり親家庭医療費助成金支給条例の一部改正・・・第7条（受給者証の提示）

その他の案件

- **契約締結の件**

◆ 中央市立田富小学校仮設校舎賃貸借

契約金額：508,138,000円

工事場所：中央市立田富小学校

工事概要：仮設建設物（建築・賃貸借・解体）、軽量鉄骨ブレース、地上2階、延床面積3,605.85㎡

契約の相手方：井口工業株式会社

報告案件

- **令和4年度予算で計上された事業のうち、21の事業について令和5年度へ繰越をすることが報告されました。**

（一般会計予算繰越明許・一般会計予算事故繰越・一般会計予算継続費の過次繰越・上水道事業会計予算繰越）

■ 繰越する主な事業は以下のとおりです。

- ・ 玉穂中央通り線整備事業・・・・・・・・・・ 8,691万円
- ・ 都市公園建設事業・・・・・・・・・・ 3億5,113万円
- ・ リニア建設に伴う田富北小学校移転整備事業・・・・・・・・・・ 7,443万円

請 願 審 査

○ 請願第1号 「保育士配置基準改善と大幅な賃金引き上げを 求める意見書」の採択を求める請願書

- ・ 請 願 者 山梨県労働組合総連合 議長 上間 正央
- ・ 紹介議員 木下 友貴
- ・ 請願要旨
 1. 保育士職員配置基準を改善すること
 2. 処遇改善事業の改善について
 - 1) 賃金引き上げにあたっては、「月額4万円以上、時間給者については時間給250円以上の引き上げ」につながるように補助を行うこと。
 - 2) 公務・民間にかかわらず、現場で働くすべての労働者が処遇改善事業の対象となるようにすること。
 - 3) 国・自治体で働くケア労働者の賃上げが確実に行われるように具体的対策を取ること。交付税と切り離して自治体の人件費財源を確保すること。

上記項目についての意見書を国に提出することを請願する。

賛成

現在の配置基準で園児の安全を守ることは困難であるため、各園では基準以上の保育士の雇用等で何とか対応している。これが保育士の待遇改善が進まない一因となっており、ゆえに保育士の確保も難しくさせる原因となっている。保育士の待遇改善、確保、園児の安全のためにも、配置基準の改善が必要と考えるため。

討 論

重要な課題ではあるが、基準を見直せば更なる人材不足のほか、人件費など多額の財源が必要との指摘があるなど、基準の見直しと賃金の引き上げだけでは解決に至らない。国においても、安定的な財源の確保と併せて検討が必要と考え、中長期的な視点に立って取り組んでいきたいと述べており、意見書を出さずとも既に検討される課題であることが明らかであるため。

反対

- ・ 審議結果 不採択

○ 請願第2号 「最低賃金法の改正と中小企業支援の拡充を求める 意見書」の採択を求める請願書

- ・ 請 願 者 山梨県労働組合総連合 議長 上間 正央
- ・ 紹介議員 木下 友貴
- ・ 請願要旨
 1. 労働者の生活を支えるため、最低賃金1,500円以上をめざすこと。
 2. 最低賃金法を全国一律最低賃金制度に改正すること。
 3. 最低賃金の引き上げができ、経営が継続できるように、中小企業への支援策を最大限拡充し、国民の生命とくらしを守ること。

上記項目についての意見書を国に提出することを請願する。

賛成

最低賃金額は地方と都市部で差があり、その地域の賃金、年金、生活保護費などに影響を及ぼすが、最低限必要な生活費は地方でも都市部でも差はほぼないため都会への一極集中と地方との格差拡大を招く。格差減、地域経済回復のため最低賃金額を引き上げ、全国一律とし、中小零細企業への支援を抜本的に強化、この3つを合わせて行う必要があると考えるため。

討 論

1は、コロナウイルス感染症が5類に移行したとはいえ、経営が成り立たない中小・零細企業が多々ある中で、とても受け入れられない金額であるため。2は、地方の特性において、家賃や食材など物価の違いがあるため。3に関しては、これまでも国、県、市において、中小企業への支援策を講じてきているため。

反対

- ・ 審議結果 不採択

○ 請願3号 心理的負荷による精神障害の認定基準の改正を求める意見書の提出に関する請願

- ・ 請願者 小池 裕敏
- ・ 紹介議員 木下 友貴
- ・ 請願要旨

現行の労働者災害補償保険における「心理的負荷による精神障がい」の認定基準においては、心理的負荷について「主観的にどう受け止めたか」という観点では労働災害と認められず、被害妄想を発症しやすい障がい特性の人は、補償を受けられない。

憲法第二十七条で、国民に勤労の権利を認めているにもかかわらず、障がい特性によっては、労働災害と認められないことがある現行の認定基準には不平等な点があるため、認定基準を改正し、本人に業務に起因する精神障がいが発症していれば、個体側要因に関わらず、労働災害と認定するよう基準の改正を求める意見書提出を請願する。

賛成

障がい者の就労が進む中で労災の認定が個々の障がい特性を考慮せずに行われることがある今の認定基準は、時代に適していない。より時代に合わせ、障がい者の社会参加を支える労災制度に改善すべきと考えるため。

討論

労災認定は、主観的な判断ではなく客観的な判断が必要である。また、認定基準については、厚労省の「精神障害の労災認定基準に関する専門検討会」の協議内容にあるとおり、労災と認められないのではなく、医学的な妥当性によって平等に認定を得ることができる内容となっているため。

反対

- ・ 審議結果 不採択

○ 請願第4号 総合法律支援法の改正を求める意見書の提出に関する請願

- ・ 請願者 小池 裕敏
- ・ 紹介議員 木下 友貴
- ・ 請願要旨

現行の総合法律支援法では、日本司法支援センター（法テラス）の行政不服審査法の手続きは「特定援助対象者」に関する一部の行政処分に対するものを除いて援助対象でないため、資力が低い人や無い人は、法専門家に手続きを依頼できず、本人による手続きを余儀なくされる。法専門家に依頼できず、本来なら審査請求等で解決する問題が、行政訴訟に発展する可能性がある。

よって、総合法律支援法を改正し、行政不服審査法の手続きを、法テラスの援助対象に加えるよう、意見書提出を請願する。

賛成

総合法律支援法は主に裁判手続きを中心に構成されているが、法律問題を抱えた人がより早い段階で法律専門家の支援を受けられるように改善されてきた経緯がある。これは総合支援法の目的である「あまねく全国において、法による紛争の解決に必要なサービスの提供が受けられる社会を実現する」ことを目指してのもので、本請願はこの改善の流れに沿って、総合法律支援法のさらなる改正を求めるものであるため。

討論

- ・ 審議結果 不採択

第2回臨時会

○令和5年度 一般会計補正予算(第1号)

2億2,342万円増額 総額140億5,773万円に

第2回臨時会が5月10日に招集され、市長提案の条例改正の専決処分2件、低所得の子育て世帯への給付金と新型コロナワクチン接種の関連事業費を盛り込んだ補正予算1件、人事案件を1件審議しました。また、報告案件1件が報告されました。

○人事案件

- ・ 農業委員会委員の任命について同意を求める件

河 西 修 氏

第2回臨時会・定例会審議結果

○賛成 ×反対 (井口 貢 議長を除く)

種別	案 件 名	副議長	フ オ ー ラ ム 央											至誠会	日本共産党	結 果		
		田中輝美	田中一臣	福田清美	小池章治	金丸俊明	斉藤雅浩	山本六男	笹本昇	薬袋正	中沢美恵	志村勇	有泉誠	内藤巧	山村一		江間政雄	新海一芳
第2回臨時会																		
専決処分	税条例中改正の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
	国民健康保険税条例中改正の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
補正予算	一般会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
人事	農業委員会委員の任命について同意を求める件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意	
第2回定例会																		
条例案件	子ども医療費助成金支給条例等中改正の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
補正予算	一般会計補正予算(第2号)																	
	国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	公共下水道事業会計補正予算(第1号)																	
その他	農業集落排水事業会計補正予算(第1号)																	
	契約締結の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
請願	「保育士配置基準改善と大幅な賃金引き上げを求める意見書」の採択を求める請願書	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	不採択	
	「最低賃金法の改正と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める請願書	×	×	×	×	×	○	×	×	×	○	×	×	○	○	○	不採択	
	心理的負荷による精神障害の認定基準の改正を求める意見書の提出に関する請願	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	不採択	
	総合法律支援法の改正を求める意見書の提出に関する請願	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	不採択	

市長の 行政報告



子育て支援センターの開所 1周年を記念し愛称決定

昨年コロナ禍の中で開所し、大変好評をいただいている子育て支援センターは、開所1周年を記念し、施設の愛称を「しん☆ちび」に決定しました。今後も施設を起点とし、子育ての楽しさを実感していただくために、今まで以上に機能の充実を図り、子育てのスタートとなる妊娠期からの支援に力を入れるとともに、後期基本計画に位置付けた私の理念の一つである「まちぐるみで子育て

て応援」をさらに進化させるため、関連サークルや支援団体の皆様の協力をいただきますながら、子育て世代が必要とするニーズに沿った新しい取り組みに挑戦してまいります。

ふるさと大使を委嘱

本市出身でA.C長野パルセイロ・レディースに所属するプロサッカー選手の大久保舞さんを、本市2人目のふるさと大使として委嘱しました。大久保選手は田富小学校、田富中学校を経て、全日本高等学校女子サッカー選手権での準優勝や、年代別の日本女子代表候補として選出されるなど、中心選手として活躍、2019年に現在の所属クラブに加入され、昨年からはチームのキャプテンを務められています。

委嘱式では、大久保選手から「ふるさと大使として中央市の魅力を発信し、サッカーを通じて地域を盛り上げていきたい」という力強いメッセージをいただきました。今後、ヴァンフォーレ甲府の須貝

選手とともに、本市のPR活動を担っていただき、ふるさとの子どもたちに夢と希望を与えるサッカー選手として、永くご活躍されますよう市民の皆様とともに市を挙げて応援してまいります。

新型コロナウイルスワクチンの接種のご検討を

特例臨時接種の期間が令和6年3月末まで延長されたことに伴い、引き続き自己負担なしで接種が可能です。まず5月から8月にかけて、65歳以上の方や基礎疾患を有する方、医療従事者等に対象を限定して接種を行います。詳細は、ホームページや広報5月号でご確認ください。また、9月以降には、これまでに2回目のワクチン接種が完了しているすべての方を対象とした接種を予定しております。詳細は改めて広報等でお知らせします。市民の皆様におかれましては、ご自身の重症化リスクや家族構成などの状況に応じて、ワクチンの接種をご検討ください。

災害協定の締結について

去る5月16日に山梨中央ロジパークを運営する富岳通運株式会社様と「災害時における避難施設としての使用及び支援協力に関する協定」を締結しました。

今回ご協力をいただいた、山梨中央ロジパークにつきましては、24時間365日稼働で、合計延べ床面積が17万平方メートルの県内最大の物流拠点であるとともに、大型の自衛隊輸送機の離着陸が可能なヘリポートを備えるなど、有事の際の大規模防災拠点としての機能を兼ね備えた施設となっております。

今回の協定締結により、有事の際の避難体制が大きく強化され、市民の皆様の安全と安心の確保がより確かなものとなり、私の公約である、官民連携による災害対応能力の向上が実践できたものと自負しております。

富岳通運株式会社様の社業を通じた地域社会への貢献に対し、改めてこの場をお借りしてお礼を申し上げます。



Q 農業振興地域整備計画書の
見直しは

A 令和5年度から2か年で、
計画の総合見直しを実施していく

福田 清美 議員

問：耕作放棄地の現状は。

答：田富地区約5・3ha。

玉穂地区約8・4ha。

豊富地区約103・9ha。

問：再生可能な農地・再生困難な荒廃農地の状況、課題、今後の取り組み等について。

答：再生可能と見込まれる農地は約39ha。荒廃農地にしないために、農地整備事業等の活用を推奨する。再生困難と見込まれる荒廃農地は約78・6ha。山付きの狭小な土地は、非農地化も選択肢の一つとして検討する。

問：豊富地区の圃場整備されている農地利用の現状は。

答：耕作が可能なエリアでは、果樹や野菜の栽培準備の土地改良を実施し、それぞれ栽培を始めている。若干の未耕作地がある。

問：有害鳥獣防護柵、電気柵等の資材購入費助成制度について。

答：作物の被害を抑える有効な手段であるので助成制度創設に向けて検討していく。

問：鳥獣害防止策の延伸について。

答：地元自治会と市が一体となって、設置や管理について協議検討を行い、遊休農地の解消や担い手農家の集約など、地域活性化の効果が図れるような計画を策定し、取り組みを進めていきたいと考えている。

【関連質問】

金丸俊明 議員



Q 学童保育の今後は

A ニーズに応じた質と量の確保に向けて取り組んでいく

内藤 巧 議員

問：学童保育の今後は。

答：学童保育は、昼間保護者が家庭にいない小学生に対し、放課後や長期休みに児童厚生施設等の施設で適切な遊びや生活の場を与え、子どもの健全な育成を図ることを目的に実施する事業で、

取り組んでいく。

問：総合会館東交差点より西側の道路整備について。

答：新環状南通り線は、下成島東交差点を起点に下河東3039番地付近を終点に、一部、既に改良済みである。本市の幹線道路として非常に重要な路線であり、今年度、未施工区間である総合会館東交差点から西側約570mの区間は、市道玉穂中央通り線の延伸部分と併せて、概略設計、概算費用の算出をコンサルタントに委託している。今後は、概算事業費等をもとに事業化に向け整備計画を検討し、計画的に道路整備を進めていきたい。

【関連質問】

中沢美恵 議員

金丸俊明 議員



Q

リニア駅近郊の開発に伴う治水対策の山梨県との協議状況は
県と連携を図りながら治水対策に
取り組んでいく

金丸 俊明 議員

問：リニア駅近郊の開発に伴う治水対策の山梨県との協議状況は。

答：山梨県では、河川整備と併せ、河川への雨水の流入を抑制する対策や被害を軽減する仕組みを組み合わせた流域治水を重視、推進するため、令和3年度に「流域治水対策推進基本方針」を策定した。

現在、県は鎌田川の水防策を盛り込んだアクションプランを策定するため、本市を含む「鎌田川流域治水検討会」を設置。流域の地理的特徴や土地利用の状況、過去の浸水被害の状況等を踏まえた洪水浸水想定をもとに、今後のハード・ソフト面の取り組みについての協議を行っている。このプランの対策メニューとして「水害リスクに応じたリニア駅周辺地域における



Q

75歳以上の人間ドック事業
助成拡充を
現段階では助成対象を拡大する
予定はない

江間 政雄 議員

問：人間ドック事業について。

答：人間ドックは、健康状態を調べ、疾患の早期発見を目的としており総合健診より詳しく調べることでできるので、長期にわたって自立した生活を送るためにも大切な健診である。

しかし、75歳以上になると、若い人に比べて医療機関の受診率が高く、何等かの疾患があり、その治療を既に受けている方がいることを考え、人間ドック受診に対する支援の必要性がどれだけあるかが問題となる。現在の高齢者の健康維持の基本的な考え方としては、75歳以上の方は人間ドックの主な目的の一つでもある生活習慣の改善が困難な場合が多く、体重減少や栄養の回避による生活の質の維持と、また、介護予防による

【関連質問】
 福田清美 議員
 志村 勇 議員

開発の検討」というテーマを設定している。本市がリニア駅近郊のまちづくりを進めるうえで神明川の治水対策は重要な課題であり、県と連携を図りながら治水対策に取り組んでいく。

問：神明川の堤防強化計画について県と市の考えは。

答：現在、県において神明川が流入する鎌田川の河川整備を行っており、整備完了の目途が立ってきたことで、支川の神明川の検討に入ると認識している。本市では、引き続き県や関係者と協働し、流域全体での総合的な対策の検討を行い、神明川の防災力強化に向けて取り組んでいく。

健康寿命の延伸がより重要である。当面は、市の総合健診において、特定健診とがん検診をセットで受診することを推奨し、健診事業以外の保健指導などによる複合的な対応で、75歳以上の方の健康維持に努めていくので、現段階では助成対象を拡大する予定はない。

問：消防団員の待遇改善について。

答：アンケート調査結果を重視しつつ、消防団の意義や役割を十分に理解してもらい、加入につながるよう、今後も消防団と団の活動のあり方についてさまざまな検討を行いながら、団員の待遇改善に努めていく。

【関連質問】
 山本六男 議員
 小池章治 議員



A **Q**

採用の今後の考え方は

まずは多くの人に応募してもらうことが重要で、今後もその方策について検討を続けていく

中沢 美恵 議員

問：採用の今後の考え方は。

答：全体的に職員は不足しており、採用試験への応募者数も年々減少傾向で、行政職では、受験資格の年齢要件を35歳まで拡大し、保育士職は、即戦力が必要なことから、社会人枠を設定し、年齢要件を45歳まで拡大した。また、今年度から第1次試験の試験科目を例年より1科目減らし3科目にし、受験しやすい環境を整えるとともに、最終合格発表を昨年度より早くするなど、多くの方に本市を受験してもらえるよう、募集要項を見直した。優秀な人材確保のためには、まずは多くの人に応募してもらうことが重要となるので、今後もその方策について検討を続けていく。

問：令和元年度以降の年度ごと

の市内在住の行方不明者及び防災行政無線放送をした行方不明者の人数について。

答：令和元年度行方不明者数は4名、うち防災行政無線放送数は3名、1名は放送を行う前に無事保護され放送を行わなかった。令和2年度行方不明者数は1名、防災行政無線放送数も同数の1名、令和3年度の行方不明者はなく、令和4年度行方不明者数は5名で、防災行政無線放送数も同数の5名だった。今後、行方不明者がでた場合、早期発見・保護できるように関係機関と連携し、行方不明者の安全確保とそのご家族に寄り添った、迅速かつ丁寧な対応に努めたい。

【関連質問】

有泉 誠 議員



A **Q**

開かれた市政の推進を

職員一丸となり、「市民の皆さまから信頼される市役所」を目指し、さまざまな事業を推進していく

山本 六男 議員

問：「市民とのパートナーシップ」

市民と行政の架け橋について。

答：一番大切なことは、私が直接、市民の皆さまの声を聴き、市政運営に反映していくことであり、今後も「市民と語る会」や「市民との対話室」を積極的に行っていく。各課、各委員会、各市民団体などと事業の推進や情報の提供・共有など対話を通じて、地域の皆さまとのパートナーシップを高める機会につなげていく。私が先頭に立ち、職員一丸となり、「市民の皆さまから信頼される市役所」を目指し、さまざまな事業を推進していく。

問：自治会長会の充実について。

答：市においては第4次行財政改革実施計画策定の段階で「自治会長会の充実」について検討

している。

し、市と地域の連携をさらに密にするため、年3回以上の会議を開催することを目標とした。

問：耕作放棄地の対策について。

答：市では、耕作されず放置され荒廃した農地について、毎年農業委員会による調査で把握し、周辺に影響を及ぼす耕作放棄地は、農業委員会より適正な管理の依頼の通知を所有者に発送し、依頼に応じてもらえるよう、農地の貸借の案内を含めて根気よく対応する。特に、住宅に近接する耕作放棄地については生活環境阻害の恐れがあるため、市民環境課と連携して対応する。

【関連質問】

江間政雄 議員

中沢美恵 議員



Q

投票率アップへの取り組みは

A

主権者教育や啓発活動を推進していく

新海 一芳 議員

問：投票率の低下要因について。

答：有権者の選挙に対する関心が低い、誰に投票してよいかわからない。また、若い世代については、政治に対する関心が低い、政治がわからない等が投票率低下の要因と考える。

問：投票率アップへの取り組みは。

答：常時啓発事業として選挙が執行されていない時でも選挙管理委員会職員が市内の中学校で、選挙に関するミニ講座や模擬投票などを行う選挙出前講座の実施や、市内小中学校8校による明るい選挙啓発ポスターコンクールの実施、二十歳のつどいの開催時における啓発活動などを行っている。また、選挙時啓発事業として、広報、ホームページ、SNS、

防災無線等による啓発活動を行い、投票日前日には、商業施設において啓発活動なども行っている。また、少しでも多くの人に投票してもらえよう市内3箇所

に期日前投票所を設置し、投票率向上に向け取り組んでいる。今後も、一人でも多くの有権者に、日頃から政治に対する関心や問題意識を持ち、選挙の投票を通じて政治に参加することは、民主主義の根幹をなすものであることを認識してもらえよう、山梨県選挙管理委員会と連携し、主権者教育や啓発活動を推進していく。

【関連質問】

木下友貴 議員

田中輝美 議員



Q

消防団の将来的施策は何か？

A

将来的に部を統合等、消防団体制を構築し、消防力の向上につなげたい

有泉 誠 議員

問：団員不足が懸念されるが、施策は。

答：全国の消防団員数が減少し被雇用者団員の増加による日中における消防力の低下や団員の高齢化が進行し、消防団の抱える課題は深刻化している。本市においても、持続可能な消防団活動の充実強化を図ることが喫緊の課題である。本市では、今年度末に消防団員の入替え時期を迎えるため、令和6年4月時点の各部の団員数の予定確保人数を把握するためのアンケートを実施し、市と消防団本部が対応を検討し、順調に団員確保ができていない部があった場合、それをモデルケースにし、その活動内容を情報提供し、団員確保の一助としてもらうよう取り組む。今後も、引き続き、

市ホームページや広報紙等、既存の広報媒体を活用しつつ、実際に消防団が活動している姿や実績等を写真等で掲載するなど多くの市民の皆さまに対し、消防団の存在意義や役割、やりがいや処遇が伝わるよう周知啓発を積極的に行っていく。

問：消防力が低下しているが、消防団組織の方向性は。

答：まずは、団員確保が最重要課題と捉え、将来的に部の統合による管轄エリアの広域化を図る等、スケールメリットを活かした消防団体制の構築を視野に入れた取り組みを強化し、消防力の向上につなげたい。

【関連質問】

山本六男 議員



Q 出産・子育てしやすい環境づくりを
A 助成制度の導入に向け、検討していく

田中 輝美 議員

問：骨髄移植ドナーへの助成について。

答：この助成制度は、公益財団法人日本骨髄バンクが実施する「移植に用いる造血幹細胞の適切な提供の推進に関する法律」において、骨髄等の提供者の増加と、移植を推進するため、骨髄の提供を行った方に対し、助成するというもの。本市にある山梨大学医学部附属病院が、骨髄の採取における認定施設であり、また、昨年度までに複数件の問い合わせもあったことから、こうしたニーズがあるものと考え、本市においても、骨髄等の提供者の増加を図り、移植を推進するため、助成制度の導入に向け、検討していく。

問：市の不妊治療費助成内容の検討は。

答：本市では、助成金の交付は、同一の夫婦に対し1年に2回まで、通算して5年間としている。こうした申請者に対し、今年度から、助成金の申請相談に応じる際、利用者がどんな支援を求めているのか、アンケート調査を開始した。調査結果を基にニーズを把握し、助成内容について検討していきたい。

問：リトルベビーハンドブックについて。

答：このハンドブックは、母子健康手帳と一緒に赤ちゃんの成長記録として活用していただき、小さく生まれた赤ちゃんや、その家族の皆さんのサポートを目的に作成している。



Q 地方創生臨時交付金の有効活用を
A 低所得世帯に1世帯当たり3万円を支給する事業と、5年度の小中学校給食費の無償化事業に全額充当する

木下 友貴 議員

問：地方創生臨時交付金の活用について。

答：今回の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金における「電気・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金」の追加交付分については、低所得世帯支援枠として、交付される予定である。低所得世帯支援枠は、特に家計への影響が大きい低所得世帯に対し、1世帯当たり3万円を支給する事業に、推奨事業メニュー分は、小中学校給食費の無償化を令和5年度3学期分まで継続する事業に、全額充当する。今後も、物価高騰等の状況を踏まえ、本市の実情に合った、必要な支援が届けられるよう検討を継続していく。

問：補聴器購入の補助制度創設は。

答：国は平成30年度から補聴器の装着による効果について研究を行っているが、まだ効果の検証は確立されていない。中等度の難聴者が補聴器をつけることで会話が聞き取りやすくなり、活動範囲が広がるなど、日常生活の質が向上し、介護予防にもつながることは重要だが、加齢による聞こえづらさや見えづらさなどの身体機能の低下は、誰にでも起こりうることであり、これらに対応した社会生活上の支援については、慎重に検討する必要がある。今後も国の研究の動向を注視し、先行自治体の実施効果についても見極めながら、効果的な支援の在り方について引き続き研究していく。

総務教育常任委員会

審査ポイント

田富小学校校舎の長寿命化の内容は

一般会計補正予算（第2号）

〈教育総務課〉

問：田富小学校校舎の長寿命化の内容について、改築をするのか、どういった工事をするのか。

答：基本的に柱と梁を残して全部剥がして新たに建てていく。建て替えにはサイクルがあり、新築後20年経過で、大規模改修をし、その後20年で建て替えの時期を迎えるが、40年には梁と柱を残してリフォームし、80年間隔で建て替えるということを推進している。長寿命化により、40年ごとに建て替えをする場合の6割から7割に費用が抑えられる。



長寿命化が実施される田富小学校

〈生涯教育課〉

問：二子塚古墳の発掘調査について、調査後はどのように考えているか。この古墳は県内でも最大級の前方後方墳で、大変貴重ということなので多くの方に見ていただくといい場所にしたかどうか。

答：今回、発掘調査で出てきたものは、古墳ではなくて古墳の跡である。公園的なものの造成や残していくということは、非常に難しい。できるだけ、現在あるものを後世に残せるような形で計画を考えている。ただ、ここは民地で、先行した計画があるところなので、協議が必要になってくる。

厚生常任委員会

審査ポイント

猫の不妊・去勢手術助成事業を継続

一般会計補正予算（第2号）

〈市民環境課〉

問：猫の不妊・去勢手術助成事業を令和5年度も行うというところだが、令和4年度実績は。

答：令和4年度実績は、避妊が109件、去勢が93件、飼い主のいない猫1件につき餌代として1,000円の助成が89件となっている。

問：避妊・去勢した猫に耳に切り込みを入れていますが、飼い主のいない猫だけに入れるのか。

答：飼い猫は強制していない。飼い主のいない猫は地域猫という事で戻すため、耳にV字にカットすることで、避妊・去勢しているということが分かるようにしている。

〈子育て支援課〉

問：保育対策総合支援事業について小規模保育事業所の場所はどこか。

答：下河東地内で玉穂南小学校東側の既存住宅を改修する。

問：小規模事業所の詳細は。

答：種別としては小規模保育事業所となり、対象年齢は0歳児から2歳児、最大で19人程度預かれる施設を計画している。当初の定員は年度中途の開設となるので、12名程度を予定している。



耳をV字にカットされた猫

産業土木常任委員会

審査ポイント

強い農業づくり総合支援交付金の内訳は

一般会計補正予算（第2号）

〈産業課〉

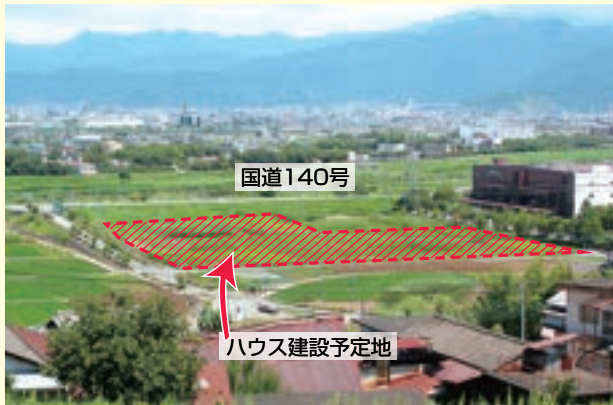
問：強い農業づくり総合支援交付金の内訳は。

答：耐候性のハウス2棟で合計面積が15、480㎡となる。また、各種栽培施設に関するものの事業費として、9億8、327万5千円のうち国庫補助対象の4億407万4千円がシャトレゼファームに交付される。残りはシャトレゼファームの自己負担となる。

問：市の交付金はないということの良いか。

答：そのとおり。

問：活力ある水田農業支援事業の農地は中央市内にあるのか。



シャトレゼファームのハウス建設予定地

農業集落排水事業会計補正予算（第1号）

〈下水道課〉

問：マンホール調査及び緊急清掃等業務は、これからおきたと

きのための予算か。

答：緊急ということ、マンホールポンプが何らの原因で詰まる状況がおきた場合に緊急対応を業者をお願いするための予算。

視察
研修

議会改革推進委員会



日時：令和5年5月18日（木）午前10時
場所：富士川町議会
内容：議会へのタブレット端末導入と運用について

タブレット端末の導入について、議会改革推進委員会で富士川町議会に先進地視察を行いました。本市議会でも今年度中の導入を目標に協議を進めているところであり、運用におけるルール作りや、運用していく上でのメリット・デメリットなどをご教示いただきました。また、実際に使用しているタブレット端末に触れる機会も設けていただき、議案の見方やメモの取り方など富士川町議会の議員の皆さまから直接、操作方法を確認させていただきました。



端末の操作を実際に見せていただきました

議会改革推進委員会では、議会の責任や役割を果たすため必要とする議会改革への取り組みを協議しています。

今回は主に、視察研修を行ったタブレット端末の導入について今後のスケジュール等の確認と、今後、議会改革推進委員会としてどういったテーマをもって取り組んでいくか協議しました。

タブレット端末については、今年度中なるべく早い導入を目指し、委員会を随時開いて運用のルール等を作成していくことが決定されました。また、今後の議会改革推進委員会のテーマとして、議員の提案能力等、資質向上に向けた取り組みを検討していくのはどうか、といった意見や、議会報告会についても、今後積極的に行っていくべきという意見が出ました。

表彰

全国市議会議長会及び山梨県市議会議長会より表彰されました。

各議員におかれましては、市政発展に尽くされ、その功績が認められたものです。

全国市議会議長会表彰

議員 20 年表彰 井口 貢 議員
福田 清美 議員

山梨県市議会議長会表彰

議長表彰 小池 章治 議員
副議長表彰 斉藤 雅浩 議員
議員 15 年表彰 山村 一 議員

あなたの写真で 表紙の写真は大募集!!
表紙を「笑顔」に!!



今年度のテーマは「笑顔」です。
奮ってご応募ください。



※詳細はホームページをご覧くださいか、事務局 (055-274-8516) までお気軽にお問い合わせください。

ヴァンフォーレ甲府を応援



閉会日にヴァンフォーレ甲府サクスデー応援 T シャツを全員で着用しました!

市民の談話室



井之口自治会
あいはら ひろし
相原 博 さん

75歳・音楽と共に

中学、高校、大学時代吹奏楽部に身を置き、色々な楽器の奏でる音に興味をもち音楽に携わってきました。

18歳の時に山梨に移り住み、甲府商業高校吹奏楽部のOBの方と知り合いダンスバンドを結成、15年ほどダンスホールなどで様々な音のスタイルを求め、より良い音楽を追及して楽しい時代を過ごしました。しばらくお休みをしていたところ、ハワイアンバンドのベースとしてお誘いがあり仲間に参加。

そんな中、中央市文化協会音楽部のバンドにギターとして加入。現在では音楽部の部長となりチームを支えています。新型コロナが5類に移行したことを契機に、再びボランティアで福祉施設のクリスマス会、自治会のイベントや野外音楽堂でのライブ等に活動していきます。それには衰えないように練習し、頑張っています。

今、75歳になり、音楽を通してこれからも人との交流を大切に、より良い音づくりに向けて、リズム感ある日々を過ごしていきたいと思います。



東花輪第2自治会
あかまつ ひてお
赤松 英雄 さん

一杯のごはん

6月6日は暦の上で「芒種」（ぼうしゅ）と言われお田植えの時とされています。周りの田んぼを見渡すと6月4日日曜日ごろにはほとんどが終わっていました。時代は変わっても先人の知恵には驚きました。また、70年ぐらい前の牛馬による耕運、人による田植えの様子を思い浮かべながら、今の田植えを見ると、種苗作業、耕運作業、田植作業とすべてに機械化が進み面積の広い狭いにもよりますが、私の知り合いの家ではお勤めの傍ら土日作業で終了しています。お米の消費量は減少傾向にあるといわれていますが、健康、活力維持には「お腹いっぱい」ご飯（コメ）です。

そこで、一杯（普通盛り）のご飯は米粒何個だと思いますか？

普通のお茶碗で3000粒から3500粒だそうです。稲一本の穂に約80粒、一株に40本の穂がつくと仮定し計算すると3200粒で大まかに計算するとお茶碗一杯、稲一株に当たるそうです。そう思って田んぼを見るとお米の大切さやコメ作りの大変さが分かるような気がします。

一杯のご飯に感謝しましょう。

編集後記

ご覧いただいた通り、今号からデザインを一部リニューアルしました。これからも見やすい紙面づくりに取り組んでまいります。

6月24日に行われたヴァンフォーレ甲府の試合が中央市サンクスデーだったことから、ヴァンフォーレ甲府の応援のため、閉会日にヴァンフォーレ甲府応援Tシャツを着用しました。試合は0対0の引き分けになりましたが、選手の皆さんが繰り広げた熱い試合に元気づけられた方は多いのではないのでしょうか。ヴァンフォーレ甲府の選手にはこれからも頑張ってもらいたい

思います。

ヴァンフォーレ甲府の“熱い”試合は元気になりますが、夏の“暑い”日々には要注意です。暑い日はこれからも続くと思われます。水分補給やクーラーを適切に使用するなどして、熱中症には十分にお気を付けてください。

議会広報編集委員会

委員長	木下 友貴
副委員長	内藤 巧
委員	有泉 誠 中沢 美恵
	江間 政雄 田中 輝美